

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年10月15日（火）
- 2 確認箇所
既設多核種除去設備（図1）
- 3 確認項目
既設多核種除去設備の現況

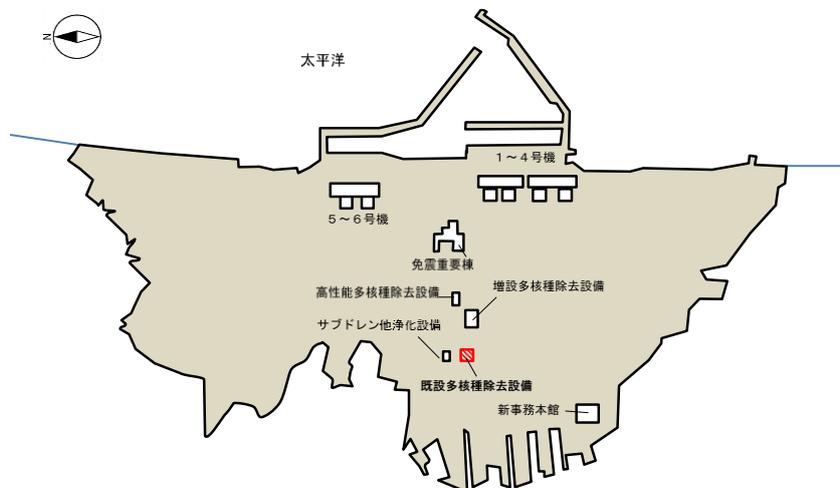
4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。

そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器のメンテナンス状況を適宜確認している。本日は、既設多核種除去設備（以下「既設ALPS」という。）を確認した。（前回確認：[令和6年7月16日](#)）

- ・当日は、既設ALPSから発生した廃棄物（使用済吸着材やスラリー[※]）を充填したポリエチレン製高性能容器（以下「HIC」という。）の搬出作業が行われていた。（写真1）
- ・クレーン作業は所定の手順通りに進められており、安全確認や手信号による合図等が適切に行われていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、HICからの漏えい等はなかった。

※液体と固体が混合した泥状物。ALPSの前処理段階において、薬剤を注入した結果生じる細かい沈殿物が水に混ざったもの。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) 遮蔽蓋のつり上げ



(写真 1 ②) HICのつり上げ



(写真 1 ③) 輸送用遮蔽体に移動



(写真 1 ④) トレーラで搬出



(写真 2 ①) クレーン作業



(写真 2 ②) クレーン作業

5 プラント関連パラメータ等確認
 本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。